



「保険でより良い歯科医療を」 愛知連絡会ニュース

「保険でより良い歯科医療を」
愛知連絡会
〒466-8655
名古屋市昭和区妙見町19-2
愛知県保険医会館内
TEL ; (052) 832-1349
FAX ; (052) 834-3584

「命を守る」保険で良い歯科医療の実現を求める 10・27歯科決起集会に全国から340人が結集！



「保険で良い歯科医療を」全国連絡会など4団体でつくる実行委員会主催の「“命を守る”保険で良い歯科医療の実現を求める10・27決起集会」が、10月27日（日）午後1時30分から、東京港区のニューピアホールで開催され、愛知からは、大藪憲治愛知連絡会会長以下16人が上京しました。

集会には、全国から歯科医師や歯科技工士、歯科衛生士など歯科医療関係者約340人が参加。宇佐美宏保団連歯科代表が開会挨拶の後、江原雅博全日本民医連歯科部長（愛知連絡会副会長）から、国民生活と歯科医療をめぐる状況と、約28万筆に達した請願署名運動や自治体での意見書採択などの取り組みが報告され、「この決起集会を跳躍台にして“保険で良い歯科医療”の運動をすすめよう」との訴えがされました。

続いて、各地、各分野から7人のリレートークが行われ、保団連歯科会員アン

ケートや大阪歯科保険医協会の歯科技工所アンケート、岩手協会の被災者の医療費負担に関わるアンケート結果の報告、県内全ての自治体で意見書が採択された大分協会の取り組みの他、民医連の歯科診療所から無料低額診療事業と「歯科酷書第2弾」の発行について、日本医療福祉生活協同組合からは、健康づくり運動の中での署名運動の取り組みが報告されました。また、歯科技工士で全国商工団体連合会青年部協議会議長の雨松真希人さんからは、20～30歳代の離職率が8割と言われる歯科技工士の厳しい実態が報告されました。フロア発言では、大藪愛知連絡会会長が愛知での署名活動や「歯の供養祭」「歯のなんでも電話相談」などの取り組みを報告し、「署名は、患者の声を届けるツール。困っている人を助けるという心で勇気を持ってやっていき

たい」と決意を語りました。

集会の最後に、7つの行動を推進するアピール（2面に掲載）を採択しました。



集会前に街頭宣伝 1時間で561筆

集会に先立って、午前中には台風一過の秋晴れのもと、有楽町駅マリオン前と御茶ノ水駅前で、「保険で良い歯科医療の実現を求める請願署名」の街頭宣伝行動を行いました。全体で歯科医師や歯科衛生士など約150人が参加し、約1時間の間に561筆の署名を集めました。愛知県保険医協会の池潤副理事長は、「私たち一人ひとりの声は小さいが、署名を集めて大きな力に変えて、医療を守ろう」と呼びかけ、白衣に身を包んだ愛知からの参加者は、リー

フヤポケットティッシュ、歯ブラシ、風船などを手渡しながら、積極的に署名への協力を訴えました。



10・27歯科決起集会 参加者の感想

街頭での宣伝行動と
10.27歯科決起集会に参加して
北生協歯科 中野友理子（歯科衛生士）



健康保険の範囲が狭められてしまえば現在の口の健康を守ることができなくなるといふことをお話しし、たくさんの方に署名にご協力いた

このたび、保険医協会の皆様とともに東京有楽町駅前にて宣伝行動と署名活動を行いました。診療室での署名活動では聞けない、街の人々の本音を直に聞くことができました。

「歯科の治療はつらい」、「期間がかかる」、「治療費も高い」といった意見もありましたが、「現在良い歯科医院にめぐり合うことができ口の中は落ち着いている」、「定期受診をし特にトラブルはない」というポジティブな声もありました。

そういった方々にも、今後医療費の負担が増えたり、

きました。

歯科決起集会で印象的だったのは、大阪の歯科技工士の現状についての報告です。技工料金の価格競争の中で、数をこなすために労働時間が必然的に長くなり体力も心もすり減らし、歯科技工士をやめてしまう人が多数いる現実に愕然とし、日本の歯科医療の将来が不安で仕方ありません。保険点数の見直しがない限り技工料金の価格競争は負のループを続けるばかり。

安心・安全の歯科医療のためにも、今後も運動を続けなければならないと強く感じました。

”命を守る” 「保険で良い歯科医療」の実現を求める10・27歯科決起集会アピール

1. 安心して歯科治療が受けられるよう、窓口負担の大幅軽減を実現させよう！
2. 保険のきく歯科治療の範囲を広げよう！
3. 保険で良く噛める「入れ歯」ができるようにしましょう！
4. 歯科医療を支える歯科技工士、歯科衛生士を守り育てよう！
5. 国が医療に使う予算を大幅に増やし、歯科診療報酬を引き上げよう！
6. 東日本大震災の復旧・復興をすすめるとともに、窓口負担免除などを復活・継続させよう！
7. 消費税増税、医療・社会保障制度改悪、TPP参加を断固阻止しよう！

「保険で良い歯科医療」の実現を求める 請願署名が45,000筆超える！

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会では、5月から「保険で良い歯科医療」の実現を求める請願署名に取り組んでいます。私たちは、国民の厳しい生活状況の中で、保険で安心して医療を受けたいという切実な願いを実現するため、来年の予算編成や診療報酬改定に反映できるよう11月末までに6万筆を目標に運動しています。

愛知連絡会で集約している署名数は45,000筆を超えました。そのうち、すでに2万筆分は紹介議員を引き受けていただいた国会議員に提出しています。愛知連絡会の署名目標に少しでも近づくため、最後まで努力したいと思います。お手元にある署名用紙を活用ください。

「保険で良い歯科医療」の実現を求める
請願署名集約状況（11月21日現在）

合計	45,075筆 (対6万筆目標比75.1%)
愛知県保険医協会	29,219筆
企業・団体の協力	4,353筆
歯科技工所の協力	2,333筆
愛知民医連	8,960筆
あいち高齢者大会	210筆

10月8日に「歯のなんでも電話相談」を開催

「保険でより良い歯科医療を」愛知連絡会は、エレバダーの10月8日（木）午後2時から5時まで、「歯のなんでも電話相談」を行いました。



相談には、保険医協会と民医連の歯科医師の計7人が対応し、26件の相談が寄せられました。

電話相談は、中日新聞や毎日新聞、NHKラジオなどで案内された他、インターネットによるPRもあり、新潟県や福岡県など遠方からも相談が寄せられました。相談者の年齢は20歳代から80歳代まで幅広く、治療中であるが主治医に聞きにくい相談や、セカンドオピニオンとしての意見を求める相談が多数でした。

相談内容は、「奥歯の根

管治療で痛みが出ていて、治まるか心配」「仕事中的事故で前歯三本が欠損となったが、ブリッジ、義歯、インプラントのうちどれがよいか」「歯科治療をきっかけにアレルギー症状が出た。皮膚科も受診したが治らない」「三十年前に入れたブリッジがあわなくなってきた。ブリッジと義歯のどちらがよいか」といった内容の他、矯正治療に関する相談もありました。